



# What IS IT?

ISIT: Institute of Systems, Information Technologies and Nanotechnologies

## INDEX

今号の主な内容

- 九州大学-ISIT-福岡市連携グリーントランスフォーメーション(GX)シンポジウム  
～脱炭素ビジネスと水素エネルギーの最前線～ ..... P1
- 展示会への出展(マテリアルズ・オープン・ラボ、産学官共創部門) ..... P2
- 九州大学オープンイノベーションワークショップ参加報告 ..... P3
- 日本工学会アカデミー九州支部講演会を開催 ..... P3
- 日本科学技術振興機構(JST)のプロジェクトに参画 ..... P3
- 第8回ふくおかDX祭り in SRP ..... P4
- 経済産業省が福岡市DX推進ラボを「地域DX推進ラボ」として認定 ..... P4
- One Kyushu DXコミュニティの取り組み ..... P5
- CEATEC2023へ出展 ..... P5
- エンジニアフレンドリーシティ福岡(EFC)アワード 表彰イベントを開催 ..... P6
- BODIK コミュニティ(Slack)の立ち上げ ..... P6
- 第19回有機光エレクトロニクス産業化研究会 ..... P7
- 九州大学で学ぶ 水素エネルギー「子どもサイエンス教室」 ..... P7
- 令和5年度ASTEM-ISIT研究交流会 ..... P8
- 賛助会員のご紹介 ..... P8

## 九州大学-ISIT-福岡市連携 グリーントランスフォーメーション(GX)シンポジウム ～脱炭素ビジネスと水素エネルギーの最前線～

令和6年1月31日

九州先端科学技術研究所 (ISIT) は、「九州大学エネルギーウィーク2024」に合わせ、九州大学及び福岡市との連携により、シンポジウムを開催しました。

世界的に注目されている脱炭素・カーボンニュートラルの取り組みの中でも特に水素エネルギーの最新事情に関する講演を行いました。

はじめに九州大学エネルギー研究教育機構教授の林灯氏に「九州大学における再エネ・水素エネルギー研究教育」と題し講演いただきました。九州大学にて世界に先駆けて取り組まれている最先端の水素エネルギー研究教育活動の中でも、特に実証研究として取り組まれている再エネを用いた水電解による水素製造技術、水素吸蔵合金による水素貯蔵技術および九州大学水素ステーションなどを用いた再エネ水素による水素バス運行実証研究などについて話されました。

次にENEOS株式会社水素事業推進部主幹の前田征児氏に「ENEOSの水素サプライチェーン構築に向けた取り組み」と題し講演いただきました。ENEOSのカーボンニュートラルへの取り組みとして、政府のグリーンイノベーション基金事業の一環で、海外再エネによるグリーン水素サプライチェーン構築計画や国内の大規模需要地での水素インフラ整備に関する自治体との連携および画期的な水素キャリア技術など、水素供給ビジネスの最新事情をご紹介いただきました。

お二人の講演に続き、ISITが実施している企業向けの技術課題支援よろず相談「分析NEXT」の紹介を行いました。

最後に令和5年度福岡グリーンイノベーションチャレンジ事業採択企業のうち、株式会社エース・ウォーター、オングリットホールディングス株式会社、日本乾溜工業株式会社より事業紹介が行われました。当日は142名の参加者があり、出席者のアンケート結果からは水素社会への期待の高さが伺えました。



林 灯氏



前田征児氏



アクロス福岡 大会議室

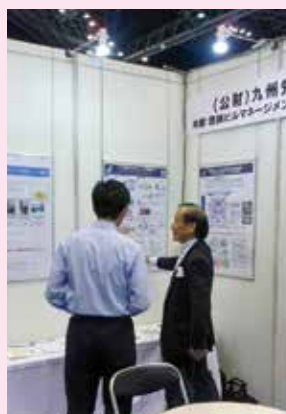
令和5年10月18日(水)~20日(金)、ISITは、マリンメッセ福岡で開催の『モノづくりフェア2023』に、福岡市産学連携交流センター (FiaS) 指定管理者 (西鉄ビルマネジメント株式会社) と共同出展しました。

展示ブースでは、よろず相談「分析NEXT」における最新の課題解決事例や、九州大学など大学・研究機関等との共同・連携プロジェクトなど、ISIT マテリアルズ・オープン・ラボ (MOL) と産学官共創推進部門の活動・取り組みについて紹介しました。

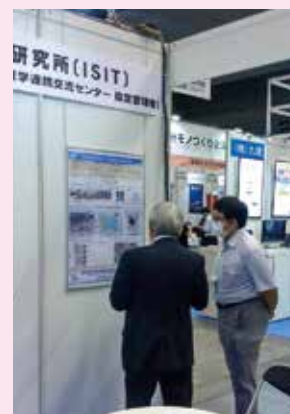
## モノづくりフェア2023



展示ブースの外観



ブース対応の様子



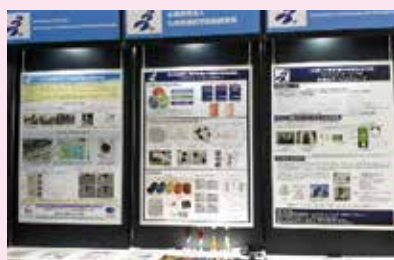
## nano tech 2024

また、令和6年1月31日(水)~2月2日(金)には、東京ビッグサイト 東ホールにて開催された『nano tech 2024 (第23回 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議)』に (公財)九州大学学術研究都市推進機構 (OPACK)、有機光エレクトロニクス実用化開発センター (i<sup>3</sup>-OPERA)、(株)KOALA Techと共同出展しました。

九州大学学術研究都市ブースの一角のISITコーナーで、MOL ナノ材料グループ・有機光デバイスグループの様々な研究開発・支援の取り組み、企業との共同研究成果 (プラズモンナノ材料)、また、ISITも参画する九州大学との研究プロジェクト (革新的接着技術) などについて広く紹介を行いました。これらの展示・紹介を通じて、多くの方に紹介・交流する機会とすることができました。引き続き、産学官連携プロジェクトや共同研究等に繋がられるよう、情報発信に取り組んで参ります。



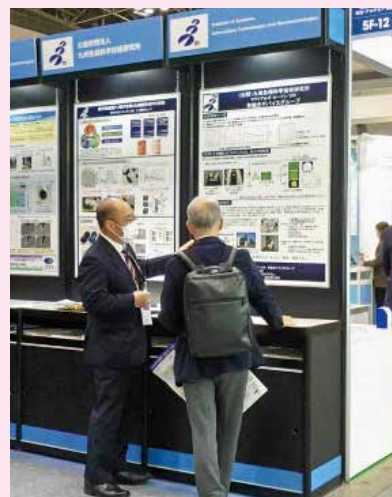
九大学研都市共同出展ブース外観



ISIT コーナーの様子



企業との共同研究サンプル展示



ブース対応の様子



令和5年11月15日に九州大学の椎木講堂で開催された「2023年度九州大学オープンイノベーションワークショップ～伊都キャンパスから新たな知の共創へ～」にて、ISITの活動をポスター展示し紹介を行いました。このイベントは九州大学の教員によるシーズ紹介に加えて、企業のシーズやニーズの紹介が一堂に会して行われる非常にユニークな取り組みです。当日はISITの紹介に加えて、One Kyushu DXやよろず相談「分析NEXT」の活動も説明しました。各ポスターには大学の教員や企業の方々が次々と興味を持って立ち寄り、特によろず相談「分析NEXT」では後日実際に相談に来られる方もあり、ISITの活動を知っていただける貴重な機会となりました。



会場の様子

## 日本工学アカデミー九州支部講演会を開催

令和5年11月17日

令和5年11月17日（金）、山田 淳 ISIT 研究所長が支部長を務める日本工学アカデミー（EAJ）九州支部主催の講演会を九州大学 伊都キャンパス 稲盛財団記念館 稲盛ホールで開催しました。

本講演会では、「工学の躍進—九州・沖縄地区から世界に」をテーマに、2名の講師より下記演題にてご講演いただきました。当日は荒天の中、約70名の方にご参加いただき、盛況のうちに終了することができました。

### 【講演1】

DXの本質と半導体新創造  
—デザイン思考拡張とイメージセンサ主要技術の紹介—  
上田 康弘 氏

（元・ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング㈱代表取締役社長、  
㈱日本マイクロニクス 社外取締役、熊本大学 半導体・デジタル研究教育機構 アドバイザー）

### 【講演2】

カーボンニュートラルを目指す電気推進航空機・空飛ぶクルマの研究開発  
岩熊 成卓 氏  
（九州大学システム情報科学研究院 教授、先進電気推進飛行体研究センター長）



開会挨拶を行う山田 淳 研究所長



会場の様子

## 日本科学技術振興機構（JST）のプロジェクトに参画

令和5年度

日本科学技術振興機構（JST）のプロジェクト「移動困難者の回遊・交流・社会参加を実現する公共空間マネジメントDXプラットフォームのシナリオ創出（研究代表：九州大学高取准教授）」において、まちのバリアフリー情報の自動収集やそのオープンデータ化などに寄与するべく、ISITの研究者もプロジェクトメンバーとして参画しています。このプロジェクトは、体と心のバリアの克服と社会参加の促進をIT技術と産学官民の連携で達成することを目標とし、さまざまな研究開発やワークショップなどを実施しています。2024年1月には、福岡市身体障害者福祉協会の皆様のご協力を得て天神地区で車いすによる回遊調査（センシング）を行いました。今後も、市民全員が安心して社会参加できるまちづくりを目指して活動してまいります。



学生のワークショップの様子

福岡DXコミュニティ（ISIT・特定非営利活動法人QUEST・福岡市）は2023年11月10日（金）に福岡SRPセンタービルで「第8回ふくおかDX祭り in SRP」を開催いたしました。

今年は「データが主導する未来」をテーマに、有識者によるDX最新活用事例の講演や出展企業によるソリューション紹介、体験型AIワークショップやセキュリティーセミナーを実施いたしました。



特別講演：（一社）行政情報システム研究所 主任研究員  
デジタル庁 リサーチユニット ユニット長  
兼 デザインコミュニティマネージャー 増田 睦子 氏



特別講演：武蔵大学 社会学部 教授  
デジタル庁 オープンデータ伝道師 総務省地域情報化アドバイザー  
庄司 昌彦 氏

また、データ活用社会の実現を目指し活動するBODIK（ビッグデータ&オープンデータ・イニシアティブ九州）事業の10周年を記念しBODIK オープンデータサミットもあわせて実施。自治体の担当者を変えパネルディスカッションなどを行いました。

さらにイベント終了後には交流会も実施。当日はあいにくの悪天候となりましたが、359名の方にご来場いただき盛況のうちに終了いたしました。



BODIK オープンデータサミット



展示ブース



AIワークショップ



イベントアーカイブ

なお、イベントでの講演の一部はアーカイブとして公開しております。QRコードよりぜひご視聴ください。

## 経済産業省が福岡市DX推進ラボを「地域DX推進ラボ」として認定

令和5年10月

2016年に地域のIoTプロジェクト創出のための取り組みとして発足した福岡市IoTコンソーシアムは、地域版IoT推進ラボとしての認定を受け活動してきました。その後、福岡市IoTコンソーシアムは、2020年には福岡AIコミュニティを吸収し、ビジネス環境の変化と共にIoTの活動範疇に留まらなくなってきたこと、福岡市内外でDX活動が活発となったことを踏まえて、2022年に福岡DXコミュニティと名称を変更し、地域のDX支援の活動を行っているところです。

今回、福岡DXコミュニティは、地域の経済発展とウェルビーイングの向上を目指す取組としての「地域DX推進ラボ」として経済産業省（METI）、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）に応募、9月選定委員会に福岡市DX推進ラボの説明を実施し、経済産業省より10月6日付けで選定を受け、同月17日CEATEC会場において選定証が授与されました。

今回の選定は、福岡市以外に、かほく市、新潟県、堺市など計7か所が選定証を受け取りました。福岡市DX推進ラボの活動としては、福岡DXコミュニティとOne Kyushu DXの2つのコミュニティを核として、地域の相互扶助のエコシステムを作るべく、具体的にはセミナー・勉強会等の開催、DXなんでも相談窓口によるマッチング支援、地域企業に対する伴走支援を行っています。



選定証授与式の様子



経済産業省の令和4年度「地域新成長産業創出促進事業費補助金（地域DX促進活動支援事業）」の補助事業として、採択された全国27プロジェクトの1つとしてスタートしたOne Kyushu DX。「地域企業同士でDXを支援し合うエコシステム形成を目指す」ことを目標に、毎週1回のイベント開催や、オンラインコミュニティ（Slack）を活用したChatGPTの勉強チャンネル、DX認定取得を目指したプロジェクトの開催を行なっています。

## One Kyushu DXのイベントを一部ご紹介！

- ゼロから始めるノーコードウェブ制作

～参加者と一緒に2ヶ月チャレンジ～

One Kyushu DXのWebサイトをリニューアルするにあたって、ただ作り直すのではなく実際に使う会員と一緒に0から作成しました。作成の過程で議論が増えることで、参加者もDXについて考える機会となりました。

- OKDX交流会「DX認定制度を知るセミナー」

IPAに講師をしていただき、経産省の「DX認定」

について参加者と学びました。ただ、学ぶだけで終わらずに、希望者でDX認定取得を目指したプロジェクトをスタートし、3月までの目標を決めて週に1回もくもく会&振り返り会を実施しています。



新たに作成したWebサイト



実際のセミナーの様子



交流会の様子

## CEATEC 2023へ出展

IT技術とエレクトロニクスのアジア最大級の国際展示会「CEATEC 2023」が、幕張メッセで10月17～20日に開催されました。

福岡市DX推進ラボは、この展示会にIPAや18の地域DX推進ラボ/地方版IoT推進ラボと共に出展しました。

期間中当ブースにDX推進担当者やソリューション企業、支援機関など143名の方が来場され、福岡市DX推進ラボの取り組みに対する説明や意見交換を熱心に行いました。

また当ラボの活動をより深く伝えるために、次のようなDX推進に関する事例紹介も実施しました。

- DXをバズワード化させないために福岡市で取り組んでいること(㈱ゼロイチハッカー)
- 社内大学ASCで会社DXに挑戦：ノーコード開発ツールでDX人材を育て、カルチャー&マインド変革(㈱オートシステム)
- 福岡市でDX-Readyを目指すエコシステムに挑戦：どうすれば地域企業が変革できるか (ISIT)



会場の様子



出展ブース

# エンジニアフレンドリーシティ福岡(EFC)アワード 表彰イベントを開催

令和5年12月3日

「エンジニアが集まる、活躍する、成長する街」をコンセプトに、エンジニアが福岡市で働きたいと思うような街づくりを目指して、福岡市と共同でスタートしたエンジニアフレンドリーシティ福岡(EFC)。

EFCの活動の推進と、エンジニアを取り巻く環境の向上を目的としたEFCアワードの2023年受賞者が決定し、表彰イベントEFC AWARD 2023を、2023年12月3日にエンジニアカフェにて開催しました。

今回で5回目となるEFCアワードでは、エンジニアコミュニティ文化の発展に貢献するコミュニティ2団体、エンジニアが働きやすい環境作りや、成長・交流促進につながる取り組みなど、エンジニアを取り巻く環境の充実に取り組む企業3社、ハッカソン・コンテスト Engineer Driven Day (EDD)で優れたプロダクトを開発した4チームが受賞しました。また、EDD協賛企業が独自の視点で選定した3チームがEDD企業賞を受賞しました。

表彰イベント当日は、表彰式をはじめ、エンジニアビザ認定書交付式、受賞者及び認定企業によるプレゼン(LT)、トークセッション、交流会などのプログラムを通して、コミュニティ、企業、学生など、登壇者から一般参加者まで、幅広い世代の多様な方々が交流を深めました。

EFCアワード受賞者やイベントの詳細については、QRコードよりWEBサイトをご覧ください。



EFCアワード受賞者



表彰イベントレポート



表彰イベント動画

## BODIKコミュニティ(Slack)の立ち上げ

令和5年度

「私たちは行政サービスの消費者ではなく、主体的に関わる市民である。」この言葉はCode for Americaの創設者であるジェニファー・パルカさんの言葉です。人口減少社会が到来し、高齢化により財政が悪化する中で、地域の課題解決を誰が担うのかというのは、大きな社会課題となっています。シビックテックは、市民自身がテクノロジーを活用して、行政サービスの問題や社会課題を解決していこうという取り組みですが、シビックテックを推進するために必要なのがオープンデータです。オープンデータが公開され、そのデータから活用事例が生まれ、地域の課題を解決していくという良い循環を生むためには、データを提供する行政職員だけではなく、そのデータを利活用してフィードバックする市民のみなさんとの繋がりが重要になります。そこで、オープンデータに取り組む行政職員間の情報共有や、提供者と利用者をつなぎ、様々なケースでどのようにデータを提供したら良いのかなどの情報交換と事例共有を行えるオンラインの場を作りました。オープンデータに関心のある方であれば行政職員だけでなく一般の方や学生さんも参加可能です。みんなで繋がってオープンデータを推進していきましょう。

ISIT/BODIKからは、2023年11月のDXまつり in SRPのプライベート有料研修の無料開放日に実施した資料の公開もこのSlackで行っていますので、ご活用ください。



Slack案内URL



DX祭りのプライベートの様子



ISITは、福岡県、福岡市、福岡県産業・科学技術振興財団（ふくおかIST）とともに、地場産業の有機EL産業への参入を促すため、有機光エレクトロニクス産業化研究会を開催しています。今回は、有機光エレクトロニクス実用化開発センター（i<sup>3</sup>-OPERA）が設立10周年を迎えたことから、最初に藤本副センター長より、i<sup>3</sup>-OPERAのこれまでの歩みと自立化した今後の取り組みについての紹介がありました。次に研究会では量子ドットに着目したプログラムを組み、糸島市に進出した昭栄化学佐々木部長から量子ドットの量産化、シャープ石田部長とソニー中村部長からは、量子ドットを発光体に用いた応用についてご講演頂きました。最後に大阪公立大小関准教授から、産業サイクルにおける大学発ベンチャーの役割とVCとの関係についてご発表頂きました。当日は、現地のみでの開催だったにも関わらず、i<sup>3</sup>-OPERAの施設見学会に24名、講演会に74名の参加があり、i<sup>3</sup>-OPERAの活動や、まさに市場への展開が始まった量子ドットに関して活発な質疑応答があり、当取り組みの関心の高さが伺えました。



講演会の様子（藤本副センター長）

## 九州大学で学ぶ 水素エネルギー「子どもサイエンス教室」

令和5年9月16日

ISITは、福岡市と九州大学と共催で九州大学伊都キャンパスの次世代燃料電池産学連携研究センターや水素エネルギー国際研究センターにて、実験体験や施設見学などを通じて小学生とその保護者に水素エネルギーについて学んでもらう「子どもサイエンス教室」を開催しました。小学校高学年（4～6年生）の14人が保護者と一緒に参加しました。

講師の九州大学工学研究院機械工学部門 立川雄也准教授による水素エネルギーに関するミニ講義に始まり、水の電気分解と燃料電池発電の実験体験、水素社会ショールームの見学、「MIRAI」や「Moving e」など燃料電池自動車（FCV）の試乗、説明などが行われました。

ミニ講義では、立川准教授が地球温暖化など化石燃料を大量消費して排出される二酸化炭素が地球環境へ与える影響、水の電気分解による水素製造など再生可能エネルギーの活用方法や水素エネルギーを上手く利用することの重要性について、分かりやすく解説しました。

実験体験では、乾電池の電力を使ってペットボトルの水を電気分解して水素ガスの泡を発生させる実験と、水素と酸素を使った燃料電池発電での電力でオルゴールを鳴らす実験を行いました。子どもたちは水の電気分解で発生した水素ガスの泡や燃料電池発電で鳴らしたオルゴールの音などに興味津々で、たくさんの質問をしていました。

また、水素燃料電池自動車「Moving e」で水素ステーションへ移動した後に2組に分かれ、水素ステーションでは「MIRAI」など水素燃料電池自動車の見学、隣の水素エネルギー国際研究センターでは水素社会ショールームにて燃料電池発電システムや水素タンク模型などの展示物の見学、水素社会に関する動画を視聴するなど、九州大学における最先端の水素エネルギー研究開発について学びました。

参加者のアンケート結果から、今回のサイエンス教室の満足の高さと水素実験に対する関心の高さが伺えました。



子どもサイエンス教室  
講師 立川雄也 准教授



水素エネルギーに関する  
講義の様子



水素燃料電池自動車  
「Moving e」説明の様子

公益財団法人京都高度技術研究所（ASTEM）とISITは、年1回の研究交流会を開催しています。新型コロナ禍によりオンライン開催が続いていましたが、今年度は4年ぶりの現地開催として、ASTEMがISITを訪問となりました。

両団体より、研究活動の取り組み状況などが報告され、積極的な意見交換がなされました。令和6年度は、ISITがASTEMを訪問する形で実施予定です。

## 賛助会員《法人・個人》のご紹介

### 新規賛助会員 ■ 株式会社グローバルワークス 様

業務システム開発・WEBシステム開発・アプリ開発等。現役エンジニアがご提案いたします。

## 賛助会員募集

ISITでは、賛助会員の募集を行っています。

会員特典

1

ISITの技術コンサルティング料金を割引

会員特典

2

コミュニティスペースや会議室で  
設備・備品が利用可能

会員特典

3

ISITホームページで紹介（リンク等）

会員特典

4

活動報告書、活動レポートの送付等

詳細はこちらまで！ ISIT総務部

TEL:092-852-3450・FAX:092-852-3455

E-mail:isit-soumu@isit.or.jp

ISITでは、定期交流会や各種セミナーの情報などを配信しております。メールマガジンのお申し込みはホームページからお手続きいただけます。

<https://www.isit.or.jp/about/publication/mailmagazine/>

## 発行

### 公益財団法人 九州先端科学技術研究所 ISIT

Institute of Systems, Information Technologies and Nanotechnologies

〒814-0001 福岡市早良区百道浜2丁目1-22  
〈福岡SRPセンタービル5階〉

Fukuoka SRP Center Bldg 5F  
2-1-22, Momochihama, Sawara-ku, Fukuoka City 814-0001

■ TEL 092-852-3450 ■ FAX 092-852-3455

■ URL: <https://www.isit.or.jp>

■ 編集: ISIT事業調整部

■ 制作: 株式会社西日本高速印刷





# 賛助会員入会のご案内

当財団の事業目的に賛同して頂ける方  
(企業/団体/個人等)の賛助会員入会を募集中



## 主な特典

1. ISIT主催のセミナー・交流会を優先的にご案内
2. コンサルティング(技術相談等)の初期相談が無料
3. ホームページで会員紹介(リンク等)
4. その他活動報告書や活動レポートの送付



当財団は、システム情報技術、ナノテクノロジーなどの先端科学技術分野において、九州地域における共創の場を提供し、社会実装や社会実証、産業界のニーズと大学等研究機関等のシーズをつなぐ開発研究を産学官連携の下で推進するなど、産業の振興と経済社会の発展に資する様々な活動・事業(公益目的事業)を行っています。

## 産学官連携プロジェクト (H30.4現在)

- 福岡市IoTコンソーシアム (FITCO)
- ビッグデータ&オープンデータ・イニシアティブ九州 (BODIK事業)
- SRPオープンイノベーションラボ
- 分析・解析よろず相談事業 (分析NEXT)
- ふくおか産学共創コンソーシアム

など

詳細：<https://www.isit.or.jp/project/>



II 産学官連携による新産業・新事業の創出支援事業

受託/共同研究・事業

プロジェクト型研究・事業

I 研究開発事業

定常型研究・事業

V 人材育成事業

III コンサルティング事業

IV 情報収集・提供事業

VI 内外関係機関との交流・協力事業

## 【入会申込・お問合せ窓口】

当研究所 総務部 Tel : 092-852-3450 Fax : 092-852-3455

E-mail : [isit-soumu@isit.or.jp](mailto:isit-soumu@isit.or.jp)

〒814-0001 福岡市早良区百道浜2丁目1番22号 福岡SRPセンタービル5階

